

案件名	カーボン・オフセット付CNG車リース事業	
申請者	一般財団法人環境優良車普及機構	
案件の概要	申請者がリース契約により提供するCNG車両(平成23年度新規リース契約車および平成22年度リース契約のうち希望車)がリース期間中の平成24年2月1日～平成25年1月31日の間に燃料使用に伴い排出するCO <sub>2</sub> の50%をカーボンオフセットする。	
	No.	商品名
	1	平成23年度新規にリース契約を行った192台のCNG車(2～4トン車)
	2	平成22年度新規にリース契約を行いオフセットの継続を希望する1台のCNG車(2～4トン車)
	3	平成23年度にリース契約を行った4台の大型CNG車
認証区分/タイミング	I-1 商品使用・サービス利用オフセット/オフセット予定認証	
カーボン・オフセットの主体(帰属先)	申請者の提供する商品・サービス等の購入者	
算定範囲	①平成23年度新規にリース契約を行った192台のCNG車(2～4トン車)、 ②平成22年度新規にリース契約を行いオフセットの継続を希望する1台のCNG車(2～4トン車)、 ③平成23年度にリース契約を行った4台の大型CNG車 合計197台のCNG車に関して、1台あたりの年間平均CNG消費量を基に、リース期間中の『平成24年2月～平成25年1月』に排出するCO <sub>2</sub> 排出量	
オフセット量 / 算定排出量	937t-CO <sub>2</sub> /1,874 t-CO <sub>2</sub>	
クレジット種別	京都クレジット(CER)	
プロジェクト名	① Bundled Wind Power Project in Tamil Nadu, co-ordinated by the Tamil Nadu Spinning Mills Association (TASMA) ② NSL 27.65 MW Wind Power Project in Karnataka, India : 319t	
無効化日	2012年5月29日	
情報公開	情報提供事項	記述欄
カーボン・オフセットに関する説明	申請者名(認証取得者名)	一般財団法人環境優良車普及機構
	カーボン・オフセットの主体の特定	①平成23年度新規にリース契約を行った192台のCNG車(2～4トン車)、 ②平成22年度新規にリース契約を行いオフセットの継続を希望する1台のCNG車(2～4トン車)、 ③平成23年度にリース契約を行った4台の大型CNG車
	認証対象活動	リース期間中にあるCNG車の燃料使用
	認証有効期間	平成24年2月1日～平成25年1月31日
	カーボン・オフセットの仕組みの説明	カーボン・オフセットとは、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府などの社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行なうとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることをいう。

カーボン・オフセットに関する説明	地球温暖化対策の喫緊性の説明	地球温暖化問題は、今は人類の生存基盤に係る最も重要な環境問題の一つである。地球温暖化が進むことにより、氷河の溶解、異常気象、生物多様性への影響等、様々な問題が発生している。自動車はその燃料使用から温室効果ガスが発生する為、地球温暖化を考える際には外すことの出来ない要因である。しかし現代を生きる私たちにとって自動車をまったく使用しない生活は、もはや成り立たない。そこで財団法人運輸低公害車普及機構では、ディーゼル車より温室効果ガス排出量の少ない CNG 車のリース事業を行うことにより、低公害車の普及啓発活動を行っている。またこの度、CNG 車の燃料使用に伴い発生する CO2 をカーボン・オフセットすることで、さらに環境に配慮した車両を提供するもの。 これによって少しでも多くの皆様へ、地球温暖化対策の重要性、及び地球環境に配慮した社会と利便性の高い社会の共存の可能性を伝えたい。
算定対象範囲	認証対象活動における温室効果ガス排出源  算定対象範囲	リース期間中にある CNG 車の燃料使用に伴う CO2 排出量  ①平成 23 年度新規にリース契約を行った 192 台の CNG 車 (2~4 トン車)、 ②平成 22 年度新規にリース契約を行いオフセットの継続を希望する 1 台の CNG 車 (2~4 トン車)、 ③平成 23 年度にリース契約を行った 4 台の大型 CNG 車 合計 197 台の CNG 車に関して、1 台あたりの年間平均 CNG 消費量を基に、リース期間中の『平成 24 年 2 月~平成 25 年 1 月』に排出する CO2 排出量
算定方法、算定排出量	算定排出量、及びオフセット量もしくはオフセット比率  算定方法(算定式、及び算定方法の根拠とした文書)	算定排出量 1,874t オフセット量 937t オフセット比率 50%  $\text{排出量} = \text{活動量} \times \text{排出係数}$ $\text{排出量} = 1,874 \text{ トン}$
削減努力の実施	認証対象活動等に係る排出削減の取組  申請者自身の排出削減の取組  オフセット主体に対する削減努力の促進に関する情報	EMS 機器リースによる省エネルギー事業 (H21 年度省エネ効果; 7.9%) CNG 車リースによる CO2 排出量削減 (対ディーゼル、2割削減)  クールビズ、・ウォームビズ導入による空調の温度管理 PCの稼働時間外の電源オフ  エコドライブ等を推奨 運送事業者等における自動車の使用実態に合ったきめ細かいエコドライブを提案する『エコドライブ総合診断事業』を行っている。また、EMS(エコドライブ管理システム)普及促進策として、EMS普及説明会を適宜開催し、エコドライブの必要性、燃費改善状況を説明している。

オフセットに用いるクレジットの調達及び排出量の埋め合わせ	クレジットの種類	CER
	認証制度名	京都議定書(京都メカニズム)
	プロジェクト名(プロジェクト実施国・実施地域を含む)	①Bundled Wind Power Project in Tamil Nadu, co-ordinated by the Tamil Nadu Spinning Mills Association (TASMA) ②NSL 27.65 MW Wind Power Project in Karnataka, India
	プロジェクトタイプ	風力発電
	クレジットの調達状況・調達期限・通知方法	①Bundled Wind Power Project in Tamil Nadu, co-ordinated by the Tamil Nadu Spinning Mills Association (TASMA) 調達日： 2010年5月25日 ②NSL 27.65 MW Wind Power Project in Karnataka, India :319t 調達日： 2010年11月10日
	クレジットの無効化状況・無効化方法	オフセットプロバイダーである三菱UFJリースを通じて日本政府償却口座へ移転。
販売価格・その他支払いに関する事項	商品・サービス当たりの販売価格	BtoB 商品のため、案件に応じて変更
	消費者の価格負担(料金への上乗せ)の有無	平成23年度新規にリース導入するCNG車の場合、価格負担無し 平成22年度に新規リース契約した車両について、オフセット認証の継続を希望する場合、負担有り BtoB 商品のため、リース利用企業と個々に取引条件を決定する。
	その他支払いに関する事項(申し込みの有効期限、不良品のキャンセル対応、販売数量、引渡し時期、送料、支払い方法、返品期限、返品送料等)	非該当
販売事業者情報	販売事業者名	非該当
	運営統括責任者名	非該当
	連絡先(所在地、電話番号、e-mail)	非該当
	ウェブサイトリンク先	非該当